

定例監査結果報告

地方自治法第 199 条第 4 項の規定による定例監査を高岡市監査基準に基づき実施しましたので、同条第 9 項の規定により、次のとおりその結果を報告します。

また、同条第 10 項の規定により、意見を提出します。

1 監査対象、監査期間及び実施場所

監査対象	監査期間
産業振興部 ・商業雇用課 ・観光交流課（高岡御車山会館） ・農業水産課（地方卸売市場） ・みなと振興課 会計課 農業委員会事務局	令和 2 年 5 月 7 日 〃 令和 2 年 5 月 26 日
	実施場所
平成 31 年 4 月 1 日から令和 2 年 3 月 31 日までに執行された所掌事務事業について	監査委員室

2 監査を実施した監査委員

廣 嶋 康 雄 玉 井 隼 也 曾 田 康 司

3 監査の着眼点

共通監査項目として以下の事項に重点を置いて、監査を実施した。

- (1) 委託料の執行状況
- (2) 工事等の執行状況
- (3) 補助金の執行状況
- (4) 指定管理者制度の運用状況
- (5) 歳入金の収納状況及び不納欠損の状況
- (6) 行政財産の目的外使用の状況
- (7) 資金前渡金の管理状況
- (8) 備品の管理状況
- (9) 監査対象の所管する重点事業の執行状況
- (10) 前回監査での指摘事項等に対する措置状況

4 監査の主な実施内容

令和元年度において執行された事務事業が関係法令に基づいて適正に処理されているかについて行った。監査に当たっては、あらかじめ資料の提出を求め、関係職員から説明を聴取するとともに、関係帳票等の監査を実施した。

5 監査の結果及び意見

経理事務及びその他の事務処理について監査したところ、適正に処理されていた。
なお、事務の執行等について、次のとおり意見を提出する。

(1) 意見

ア 呉西地区には高岡古城公園をはじめ、観光素材は十分あると思われることから、連携中枢都市圏の6市がうまく連携し、それぞれの強みをPRすることで大きな相乗効果を得ることができると考える。また、SNSなどは個人旅行者が旅行先を考えるうえで非常に重要なツールとなっていることから積極的に活用し、今後の観光誘客に努められたい。

[観光交流課(高岡御車山会館)]

イ 農業者の担い手不足や高齢化が進む中、スマート農業や6次産業化などを推進し、農業自体を持続可能となるよう支援に努められたい。

[農業水産課(地方卸売市場)]

ウ 伏木港のクルーズ船寄港のため、鋳物体験などの地域独自の観光や高岡市ならではの魅力を盛り込んだ企画の提案を行い、より一層の誘致に努められたい。

[みなと振興課]